

令和6年1月26日(金)

すべての人間は、生まれつき、知ることを欲す！
～「アリストテレス」の言葉～

この言葉は齋藤孝著の「こどもギリシア哲学—汝自身を知れ—」から紹介しています。

アリストテレスは人間と動物の違いを考えた痛いとか熱いとかの感覚は動物にもあるけれど、人間には、知りたいという探求心がある。それが人間と動物の違いだと言っている。

火星に生物がいるかを確かめようと火星探査機を飛ばす。日本ではイトカワという小惑星に探査機「はやぶさ」を飛ばして、土を持ち帰った。このプロジェクトのマネージャーの川口淳一郎先生にお目にかかったとき、「とにかく疑問をもつことが大事だ」と言っていた。なぜこうなんだろう、どうしたらこうなるんだろうと問いを立てることが大事で、問いに答えることは技術に過ぎないんだ。技術の大本には、人間は生まれつき知ることを欲するということがあるんだ。

何を見ても聞いても驚かないとなると、石と変わらなくなってしまふ。気からリンゴが落ちた時、「ああ、落ちたね」としか思わないのと、なんで下に向かって落ちるのだろうと疑問を持つのとでは、ぜんぜん違う。

人間に生まれたからには「もっと知りたい」の精神で行こう。